

製品名: グランザイム K ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11743**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	GZMK
別名	GZMK; TRYP2; Granzyme K; Fragmentin-3; Granzyme-3; NK-tryptase-2; NK-Tryp-2
遺伝子 ID	3003.0
SwissProt ID	P49863
免疫原	抗血清はヒト GRAK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

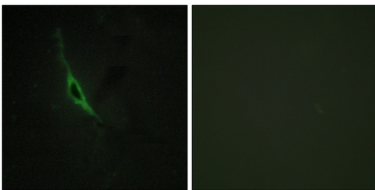
この遺伝子産物は、細胞傷害性リンパ球の細胞質顆粒に由来する、関連のあるセリンプロテアーゼ群に属する。細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) とナチュラルキラー (NK) 細胞は、特定の標的細胞を認識し、結合し、溶解するという優れた能力を共有している。これ

らの細胞は、表面に「非自己」抗原（通常は細胞内病原体による感染によって生じたペプチドまたはタンパク質）を有する細胞を溶解することで宿主を保護すると考えられている。ここで記述されたタンパク質は、他のグランザイムに存在する N-グリコシル化のためのコンセンサス配列を欠いている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。グランザイムサブファミリー。 ,類似性: ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含む。 ,組織特異性: 肺、脾臓、胸腺、末梢白血球で発現する。 ,

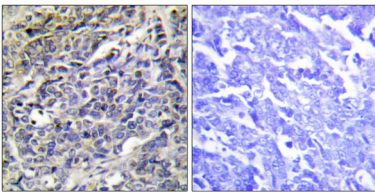
研究分野

-

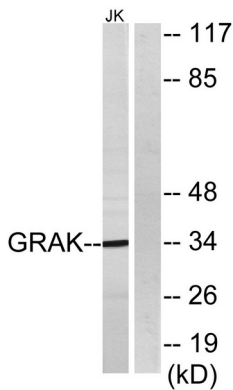
画像データ



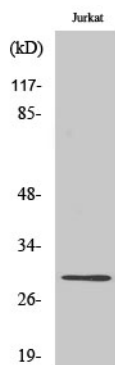
GRAK 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GRAK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GRAK 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の Granzyme K ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析